

マーケットの動き（2021年2月8日～2月12日）

先週の米国株式市場は、前週末比で上昇しました。パウエル議長が緩和的な金融政策の継続を示唆したことや、米国バイデン大統領が7月末までに約3億人の米国国民に2回の接種ができるワクチン在庫を確保したと述べ、新型コロナウイルスの収束期待が高まったことなどが好感されました。一方、欧州株式市場は全体として米国市場に連動して推移しましたが、ユーロ高が警戒されたドイツ株式市場は上値の重い推移となりました。

投資環境見通し（2021年2月）

米国、欧州とも上値の重い展開

米国：FRBが緩和的な金融政策を継続するとの見方に加え、新政権による追加経済対策推進や企業業績の改善を受けて上昇を続けてきました。株式相場は中長期的には企業業績の改善ペースに沿って上昇基調を維持するとみています。ただし、昨年来の急ピッチな上昇に対する警戒感に加えて割高感も指摘されていることもあり、短期的には上値のやや重い展開を予想しています。

欧州：コロナ禍で域内主要都市における社会・経済活動の制限の長期化・厳格化による景気への影響や変異株に対する警戒感、ユーロ高による輸出企業の業績への懸念などから、上値の重い展開を予想しています。

	2月12日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	3,934.83	1.23%	3.52%	16.40%	16.43%
NYダウ	31,458.40	1.00%	1.25%	12.44%	6.45%

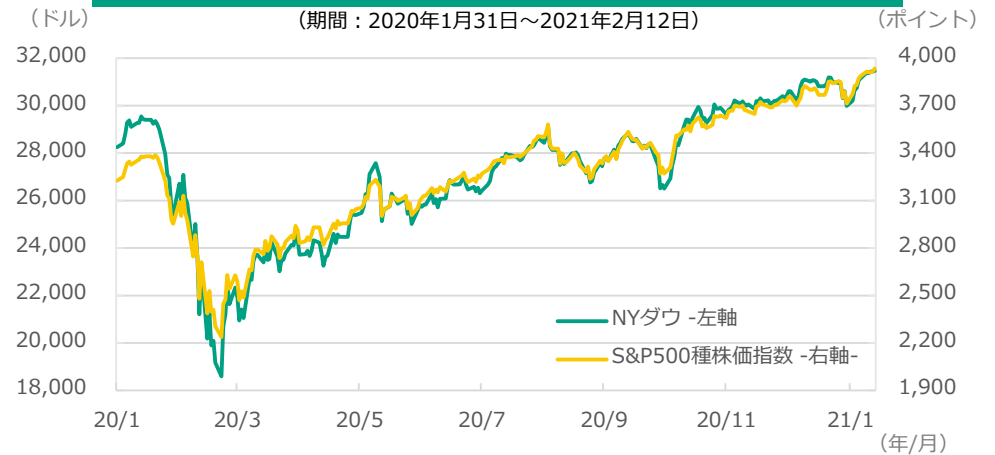
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202102_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2020年1月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成